

# まちかど アルバム



栄町

## 朝市でまちなかに活気を

4月22日(日)、JR鳥取駅前のサンロードで「いなばの『お袋市』」が開催されました。これは、朝市を鳥取の新たな風物詩として定着させ、中心市街地ににぎわいを取り戻そうと行われたもので、地元商店や県東部の生産者30店が軒を連ね、自慢の商品を販売。朝早くから大勢の買い物客が訪れ、お目当ての品を買求めています。同実行委員会は、この朝市を6月まで毎月第4日曜日の午前6時30分から開催し、その後順次回数を増やしていきたいとのこと。

河原地域

## 大きくなれよと願いを込めて

5月2日(水)、河原地域を流れる千代川とその支流の曳田川<sup>ひけた</sup>、合わせて15カ所で、アユの稚魚の放流が行われました。この日は時折小雨の降るあいにくの空模様でしたが、放流には千代川漁協河原支部の有志約30人が参加し、ホースを使って稚魚をトラックの水槽から川へ放流。合計1.6ト、約22万匹の稚魚は元気に川の中を泳いでいきました。これからのアユ釣りのシーズンは、千代川が1年の中で最も活気づく季節です。



福部町海士

## 秋の収穫に胸躍らせて

5月12日(土)、市内の小学生とその保護者など30人が、農業体験活動として地元の農家から借りた砂地の畑約1.5㍓にサツマイモの苗を植えました。作業は午前9時から始まり、参加者は汗だくになりながら2時間かけて300本の苗の植え付けを完了。10月中旬にはたくさんのサツマイモが収穫出来ることを祈りつつ畑を後にしました。なお、植え付け後の除草作業や水やりなど秋の収穫までの管理は、地元の人にボランティアでお願いしています。



青谷小学校

## ふやせ、ちびっ子サポーター

4月20日(金)、青谷小学校南校舎で「ガイナレ鳥取のお兄ちゃんとおぼろ〜」が開催され、青谷地域の子どもたち約60人とガイナレ鳥取のキャプテン、戸田孝好選手、とだたかよし選手、みよしたかのり選手、たのおともき選手が、「だるまさんが転んだ」などをして楽しく遊びました。「子どもたちと触れ合うことでガイナレ鳥取を知ってもらうことはもちろん、子どもたちには外で遊ぶことや友達とのふれあいの大切さを学んでほしい」と同選手たちは話していました。





## 老いも若きもナイスショット

4月29日(日)、鹿野小学校で「鹿野地区世代間交流防犯球技グラウンドゴルフ大会」が開催されました。これは、異世代間の交流と防犯を目的に毎年開催されている大会で、この日は雲一つない青空のもと、スティックが重くて自分では持つことができない幼児からベテランのお年寄りまで100人以上が参加。ホールインワンで大喜びしたり見当違いの方向へ転がるボールを追いかけたりする姿も見られ、みなさんが和気あいあいと交流していました。



## 佐治地域

### さじっ子が梨づくりを体験

4月20日(金)、佐治小学校3年生12人が、白い花が満開の梨園で梨の交配作業を行いました。これは、農業体験学習として地元の特産品である二十世紀梨の木1本を農家から借り受け、交配から出荷作業までを学ぶもので、児童たちはJA鳥取いなば八頭西宮農センター職員の指導を受け作業を開始。「初めてだけど楽しい」などと話しながら、秋に美味しい梨が収穫できるようにと筆で花一つひとつに受粉させていました。



## 国府地域

### 大みこしをもう一度人の手で

4月21日(土)、因幡国一の宮として知られる宇倍神社の「春の例大祭」が開催され、重さ約1.7トンの大みこしが約半世紀ぶりに人の手で担がれました。近年、みこしのお披露目がトラックの荷台で行われていたところ、地域の祭りとして盛り上げていくために人の手で担ぐことを望む声が上がったため、宇倍神社春祭り実行委員会が町内外に担ぎ手を募集。当日は、鳥取と京都の「神輿愛好会」の協力も得て約200人の担ぎ手が繰り出し、多数の見物客でにぎわいました。



## 気高町新町

### ますます愛される小径へ

5月12日(土)、気高地域で「文芸の小径」として住民から愛されている市道の清掃活動が行われ、地元住民など約80人が参加しました。この市道は、気高町出身の女流作家、田中古代子<sup>たなかこよこ</sup>をはじめとする地元の人たちの



歌を彫った石碑が立ち並ぶ、散策にぴったりの歩行者専用道路です。「女性の集いけたか」の呼びかけで集まった人々が一斉に清掃作業に取り掛かると、茂っていた草木はあっという間に取り払われ、すっきりとした木立にはさわやかな風が吹き抜けていました。

## 若桜街道

### 今年で30回「鳥取市花のまつり」

4月29日(日)、恒例の「鳥取市花のまつり」が開催され、青空の下、家族連れなど約3万7千人でにぎわいました。午前11時から歩行者天国となった若桜街道では、ステージイベントや紙芝居、親子フラワーアレンジメント教室など多彩な催しが開かれ、さじアストロパークが用意した昼間の星を観測するコーナーでは、子どもたちが楽しそうに望遠鏡をのぞき込んでいました。また、先着900人にマリーゴールドの苗などがプレゼントされるコーナーには、長蛇の列ができていました。

